

2010 年 5 月 13 日

2009 年度春学期授業アンケート結果報告

下関市立大学 FD 委員会

本委員会は、2009 年 7 月 9 日～7 月 24 日の期間に実施した授業アンケートの結果に対して、本学教員（非常勤も含む）から提出されたコメントを、科目群に基づき、演習（基礎演習・教養演習・専門演習）、語学、講義、実習（スポーツ実践・コンピュータ実習）に分類した上で、それぞれ、内容、方法、環境、その他の観点から整理した。なお、設備についての意見は最後に列挙し、回答とともに整理した。それらを以下に示す。

【演習】

基礎演習

内容

- ・授業が楽しかった。
- ・図を使った説明を心がける。
- ・丁寧に説明したのが評価された（2）
- ・テキストが難しかった。
- ・テキスト、配布物の評価が悪かったので来年度以降使用するものをしっかり考えたい。
- ・英語の文献を訳させたが、もう少し時間をかけて指導するほうがよかったようだ。
- ・継続的な教材研究をしたい。
- ・本を読む機会を与えたことが評価された。
- ・難易度について、もう少し簡単にしたい。
- ・学生を引き付ける基礎演習の主題を考えたい（2）
- ・正規の授業と現代 GP の授業が入り混じってしまった為、結局何をやっている授業なのかわかりせず、学生にとって不満になってしまった。
- ・教員相互で GP と基礎演習の両立をどのように進めるか話し合っておくべきである。

方法

- ・シラバス通りに進めず、授業進度によって臨機応変に対応したことに対する学生の評価が高かった。
- ・クラスになじみにくい学生に対する個別対応を丁寧にしていきたい。
- ・発表の準備、心構え、レジュメの書き方を学ぶことができた。
- ・レポートの書き方を分かりやすく指導する場面を織り込めなかった。
- ・レポートの書き方が分かってよかったという評価が多かった。

- ・レポートの書き方を分かりやすく指導するため、執筆に取り掛かる段階で改めて説明時間を確保するとともに、執筆状況に合わせて時間外指導をグループごとに行いたい、学生たちがグループ作業のために集合できる時間は限られており、教員がそれに合わせることもままならないので難しい。
- ・難解なテーマを設定してしまったり行き詰ってしまったグループへの指導に失敗した。
- ・授業難度がちょうどよかった。
- ・学生の満足度が十分に得られなかった。
- ・楽しい雰囲気話し合えるようにしたい。
- ・授業の雰囲気がよかった。(3)
- ・全ての発表に学生全員の意見と先生のコメントを聞くことができてよかった。
- ・資料や情報を多く与えただけでなく、主体的に考える時間を多めにとった。
- ・教員の熱意を評価された。
- ・学生に平等に話す機会を与えたい。(2)
- ・自由に発言しやすい雰囲気づくりに配慮した。(3)
- ・学生間で活発な議論ができるまでには至らなかった。
- ・グループごとに報告・司会を担当してディスカッションにつなげるよう指導した。
- ・演習の中で文章を書く練習をし、受講者同士で批評しあう時間を設けたい。
- ・参加学生の予習・復習への取り組みをさらに向上させる必要がある。(2)
- ・他の基礎演習のクラスと合同でスポーツするなど、アクティビティを取り入れて緊張を和らげたのがよかった。

環境

- ・もっと学生と対話するような場を設け、様子をみていきたい。
- ・寝ている人に注意するようにしたい。
- ・受講者数と教室面積が適合していない(狭い)
- ・私語を注意し、静かな環境への努力をしたが評価は低かった。
- ・自分で資料を見つける術が少しわかったというコメントがあった。

その他

- ・不適切な発言があったという指摘があった。
- ・演習時間数を増やす必要がある。
- ・学生の自由記述のコメントに勇気づけられたり学ぶことも多かった。
- ・レジュメやレポートを出すという点でためになったという評価があった。

教養演習

内容

- ・シラバスを改善したい。
- ・内容を分かりやすくしたい。
- ・敷居を低くできるようにしたい。
- ・理解しやすかったという評価があった。
- ・受講者の興味を引き、易しい書物を提供したい。

方法

- ・一方的な説明にならないようにしたい。
- ・「講義」にならないようにしたい。
- ・声が聞き取りにくかった。

その他

- ・受講者数が増えてきてうれしい。
- ・体験学習の試みなども行いたい。

専門演習

内容

- ・達成感を得られるような授業にしたい。
- ・授業内容が面白い。
- ・授業難易度が難しすぎた。(4)
- ・授業難易度の評価がばらついている。
- ・説明が分かりやすかったという評価を受けた。
- ・楽しかった。
- ・学習・研究量が多すぎた。
- ・テキストが難しかった。
- ・適切な分かりやすいテキストを探す。(2)
- ・学生にとって身近な題材から学ばせる工夫をしたい。
- ・視覚資料を用いたのが評価された。
- ・進度を学生の様子を見ながらゆっくり進めようと思う。
- ・基礎演習のレベルの低さが専門演習を消化する能力の低さをもたらしている。基礎演習のプログラム共通化は果たされているが、重点項目に絞り込むことを至急に再検討する必要がある。

方法

- ・声・速さに気をつけたい。
- ・個人面接を実施して、学業・学生生活の状況を把握した。

- ・ 3 年次から文章作成能力を育成する方法を厳しく指導したい。
- ・ 卒論の準備・管理表を作成して、それに基づいて進行できるように工夫した。
- ・ 卒論の作成の手助けとなるように、いつでも相談に乗れるようにしたい。
- ・ 質問・相談対応に気をつけたい。
- ・ 学生の主体的な卒論への取り組みが必要である。
- ・ 学生が自発的な行動を自分で行うようになった。
- ・ 自発学習の意欲の盛り上がりが不十分だった。
- ・ 活発な討議や学生による自主的なゼミ運営ができるように工夫したい。
- ・ サブゼミを定例化させる。
- ・ 板書を改善する必要がある。
- ・ 配布資料を改善する必要がある。
- ・ 教材選び、授業内容のレベルに配慮したい。
- ・ 学生にきちんと予習復習をして授業に出るようにさせたい。(3)
- ・ 言いたいことを自由に発言でき、的確なアドバイスがあってよかったと評価された。
- ・ もっと学生に発言させる機会を増やしたい。
- ・ 雰囲気よかった。(4)
- ・ 学生に緊張感を持たせる雰囲気づくりが必要である。
- ・ 学生の就職活動への配慮があったのがよかった。
- ・ ゼミ希望者が多いので人数を絞るためとやる気を見る為、選択段階で「人生を語る」というテーマで 2000 字以上のレポート提出を義務付けている。これがゼミに入ってからコミュニケーションをとる際の格好の好材料となっている。また、学生自身もこれまでの人生を振り返るいい機会になったと評価している。

環境

- ・ ふざけている学生を注意するようにしたい。
- ・ 学生の出席率が低かった。(4)
- ・ 就活や企業の研修で授業を欠席するケースが多い。(3)
- ・ 就職活動での欠席を大目に見すぎかもしれない。
- ・ 無断欠席をしないことを徹底して指導したい。
- ・ ゼミの開講曜日を金曜日から変更してほしいという要望が多い。

その他

- ・ みんなで一緒に唐戸に勉強合宿に行ったのは楽しかった。
- ・ 泊まりがけの合宿は学生にとって極めて有意義なものである。
- ・ 4 年生のやる気が低く、モチベーションを喚起するのが大変だった。
- ・ 時間枠が 90 分では不十分なので 180 分枠にしてほしい。

- ・例年の学生と違う。
- ・読書感想文の提出を義務付けたが、1名を除き早々に脱落した。
- ・専門演習のアンケート実施日に出席者数が少ないので学生が回答しづらいのでは。講義形式とは違った角度からの質問が必要だと思う。
- ・ゼミの開講数の少なさ、教員の人数の少なさが根本的な問題がある。
- ・ゼミは正規の授業時間外において学生との接触が極めて多い。ゼミ生が多いとゼミ生の世話により絶えず多忙となる現実がある。ゼミ生担当一人当たり何らかの手当でも出してゼミ担当者の労に答えるべきであるし、ゼミ生を多く集めるべく魅力的なゼミをつくるべく努力に結びつくのではないだろうか。そうすれば今ほど特定のゼミに集中することもないのではないか。

【語 学】

内容

- ・検定対策を行ったのが評価された。
- ・シラバスや授業に関する情報を英語で書いているが学生は十分に理解できていない。
- ・英文法に関して高校までのよい復習となり、以前より英文を書く機会が増えたという記述があった。
- ・宿題や課題を課したのがよかった。
- ・授業時間内に作文を書き、直接修正するのはたとえそれが学習に効果的であっても、時間的に不可能であり、無駄となる部分も大きい。実戦練習で扱う問題もより高度、複雑になる。今後は、基礎文法積み立ての上に、より高度な技術（文章構造、語彙・表現形態の選択等）を身に着け、問題の設定、文章の高層、論理的表現・発表へとつながる一連の作業の練習を着実に行っていきたい。
- ・授業中に学生に文章を書かせてその文章に対してフィードバックを行うための時間を十分に設けたりすることは大事であると確信できた。
- ・テキストが通年で使える設計になっているので手をつけず残った章が多かった。半期だけの授業に分量的により適した教科書を選びたい。
- ・テキストが難しかったのでテスト範囲を狭くすることや語彙量を減らすことを検討する。
- ・テキストが難しかった。
- ・テキストが学生にとって分かりやすく関心が持てる内容だった。
- ・教材の選び方を変えたいと思う。
- ・学生の役に立つ教材や資料をよく考慮したいと思う。
- ・水曜日の授業の教科書と、同じクラスで他教員担当の月曜日の授業の教科書が同じであるという不満があったので、英語科で対策を検討する必要がある。
- ・レベル設定を考慮したい。「やや難しい」と感じるぐらいがやる気を引き起こすと思う。
- ・分かりやすい授業を行うように努めた。

- ・学生の反応を見ながら分かりやすい授業に努めたことが評価された。
- ・かみくだいた説明の仕方、例文を提示しながらの説明に改善の余地がある。
- ・質問の時間をとっているが質問が殆ど無い
- ・授業の途中で質問受付をしてみたい。
- ・ミニツツペーパーの実施回数を増す。
- ・何を言わんとしているかつかめるまで英語力、日本語力を磨くように指導したい。
- ・英語力が低い学生のために、講義のスピードや質を下げざるを得ない現状がある。遅進者に対しても、英語を基礎から学べるクラスを用意する必要があると思う。
- ・学生が中心となる教授法がよい結果を残したので研究しながら進めていきたい。
- ・色々な話題を提供して中国を紹介できる内容にしていきたい。
- ・現在の朝鮮半島の事情や出来事を随時紹介して、教科書以外に簡単な読物や韓国の童謡などを教えることで、朝鮮半島と朝鮮語に対する学習者の興味を持続させていきたい
- ・韓国の習慣や文化などを紹介したところがよかった。日本とは微妙に違う習慣や文化、語学に関する言い回し方を紹介した。
- ・韓国理解の手助けになる映画・歌・ゲームを取り入れ参加型授業を実施した結果、教員、クラスメート同士のコミュニケーションに役立った。
- ・授業に関連ある言語表現や文化知識も授業に取り入れた。
- ・異なった文化背景をもった学生が興味を持って、共通の話題をすることのできるテーマを題材に選んだことが、積極的授業参加を促すことに繋がったと思う。

方法

- ・小人数クラスなので1人1人の学生に配慮しながら授業することができた。
- ・授業で使用した内容をテープ等に録音して学生に渡すことを今後できる範囲で行いたい。(著作権法という面も考慮する必要あり)
- ・話す機会を増やしてほしい、学生の発言も尊重してほしいという意見があった。
- ・問題を解くまでの時間がほしいという指摘があったので、授業の緊張感を無くさない範囲で検討する余地がある。
- ・怒ったり、褒めたりするだけでは学生の学習意欲を高めることはできない。プライズでも用意しようかと思うこともある。
- ・テレビCMを見たことが評価された。
- ・視聴覚教材を使用してほしいという意見があったので検討したい。
- ・生教材使用のためスピードが速かったのか、練習できないという意見があった。
- ・一つのテーマについての練習が終わるたびに意見発表を行ってきたのが学生の自主性を引き出す良いきっかけとなったと思う。
- ・テーマの設定について柔軟に、授業の進行にもロールプレイ、ペアワーク等、学生の自主性が発揮される授業を目指したい。

- ・丁寧ゆっくり授業したことを評価した学生と授業が簡単すぎたという学生がいた。
- ・板書を改善する必要がある。(2)
- ・学生が予習復習により取り組むように、楽しい、面白い課題を課したい。
- ・学生が予習をしてくるように工夫をしたい。
- ・間違った学生に対し、予習の足りなさを叱ったが、少し行き過ぎもあったかもしれない。全員が予習するように厳しく指導したいが、行き過ぎないように気をつけていきたい。
- ・予習をしている学生が少ない中、予習をやっている学生がいると、その学生に当てていたが、次の質問もその学生が答えることになり、ついにはその学生も目立つことを恐れ、答えなくなってしまった。悪しき循環だと思う。
- ・聞き取りづらい。
- ・授業時間外の質問について改めて授業時間に全員に答えるようにしたのが評価された。
- ・中国語に慣れるために、授業中の指示はボディランゲージと共に中国語を使う。
- ・最初に中国語で話し、その後日本語で話すのが学生のヒアリング向上には良い。
- ・日本語で授業するよう求めた学生もいたが、できる限り中国語で話したほうがヒアリング力と会話力向上に効果があると思われる。
- ・英語のみの指示が分かりづらかったという指摘があった。
- ・授業で一切日本語を使わなかったことに対して様々な意見があった。
- ・授業が終わるのが遅くなったので時間を守るように心掛けたい。
- ・学生の理解が得られないため、Eメールで宿題を出させ添削したものを資料として全員に配布するのを止める。

環境

- ・このクラスは多国籍であり、異文化交流が可能なクラスであるため、これを活かしたディスカッション等、学生が積極的に意見を発表し、他学生の意見を聞く場を増やしたい。
- ・授業にインターネットやPCの利用を取り入れたい気持ちはあるが、実習室が違う科目で利用されていることが多く、なかなかできないのが現状である。
- ・授業の雰囲気よかった。
- ・読解の授業だと受身になりがちだが、読み教材を使って議論したり、意見を言い合ったりする活動も検討し、よい雰囲気をしたい。
- ・会話中心の授業だったので楽しく覚えられたようである。ペアを組んで練習させたり発表させたりしたので、授業雰囲気もよくなって楽しく学習できた。
- ・LL教室で、自分のペースで何度も聞きなおせるシステムを活用でき、学生が抵抗なく練習できたのがよかった。
- ・単語テストでカンニングをした者がいたことは遺憾である。小テストであっても厳しく監督していきたい。
- ・遅刻が多い、時間を守ってほしい、とのコメントがあった。教室に行くのは実際に授業

が始まる 15 分前だが、授業の最初 5 分くらいを使って課題を返したり、学生にアドバイスをしたりすることが多いので、アドバイスを受けていない学生にとっては「授業が始まっていない」という印象になるかもしれない。

・受講者及び受講者以外の学生から中国語演習を水曜日 5 限からほかの時間に変えてほしいという意見があった。

その他

- ・氏名に振り仮名をつけた受講者名簿を作成してほしい。
- ・学生は自由記述を色々書いてくれたが日本語が読めないので読めなかった。
- ・シラバスを日本語で書くべきかもしれない。
- ・学生の人数が多すぎる。実習科目の場合は少人数にしてほしい。
- ・授業の始まりの時間だけでなく、終わりの時間もチェックすべきだと思う。
- ・テキストのディスカウント販売をしたらよいと思う。

【講 義】

内容

- ・授業が難しすぎた。(8)
- ・内容が分かりやすかった。(2)
- ・次年度は教科書を使用したい。
- ・次年度は難しい内容を減らしてバランスをとりたい。
- ・映像、視覚資料を多用した点がよかった。(5)
- ・授業速度が速すぎた。(2)
- ・ペースが早すぎるという意見があるが、一定の内容を消化するための前提条件である。
- ・教科書のペースを遅らせ、昨年より講義範囲を削減し学生に合わせた。
- ・次年度は学生の理解度を確認しながら進めたい。
- ・ここでしか学べない講義であるという評価や、専門知識が増えたという評価は嬉しい。
- ・配布プリントをネットに置いて学生各自で印刷してくるようにしている。
- ・プリントのミスがあったので修正する。
- ・配布プリントが分かりやすかった。(4)
- ・配布プリントの種類が豊富であった。
- ・配布物の見やすさ、資料指示の分かりやすさの点で配慮に不足があった。
- ・配布資料や指定図書、資料を用いた自習を促したい。
- ・資料が多すぎてどこが重要か分からないという評価があったので配布資料は極力少なくしたい。
- ・受講者の反応を意識するようにしたい。
- ・六法を用意していた受講生が少数だった。

- ・学生の興味をひくような材料を選択してきたことがよかった。
- ・コミュニケーションをとりながら授業を進めるようにしたい。
- ・起業家紹介したことが評価された。
- ・焦点を絞ってあり、興味を持ってたという評価を受けた。
- ・内容を厳選して説明の方法を工夫する必要があるが、安易にレベルを落とすことも避けねばならない。(2)
- ・科目の狙いをよく説明して、高度な内容については十分に理解しなくても差し支えないことを周知させたい。
- ・テストに出題しない範囲の教科書を買わされたという意見があったが、教科書の一部をテスト範囲として指定した。また、テスト範囲外の部分も講義を理解するために必要である。教科書は講義を聴くときはもとより、一生役に立つものだから上手に利用してほしい。
- ・楽しい授業を受けることができたという評価を受けた。
- ・テキストが書き込み式であることが評価された。
- ・教材を改善したい。
- ・教科書の訂正が多かったので改善したい。
- ・著書を刊行し、教科書として指定したが、入手が遅れ、学生に迷惑をかけた。
- ・教科書の価格が高く、図書館に 2 冊置いているが、利用に不便をかけた恐れがある。
- ・成績上位者が増えたが下位者のレベルも低下し、成績の格差が拡大している。

方法

- ・小テストを実施したことが評価された。
- ・マイクを使ってほしいという意見があったのでマイクを使うようにする。(2)
- ・大教室でスクリーン内容を説明する場合に指示棒を用いるようにする。
- ・問題提起型の講義を行い、活発に質問する学生が増えた。
- ・開始時刻 10 分前の入室を心がけたい。
- ・パワーポイントによる授業だと学生が寝てしまう。
- ・新聞や TV メディアを教材に取り入れ、授業内容にアクチュアリティを持たせた。
- ・講義中に問い、レスポンスペーパーにその都度ごとに回答を書く時間を設けることで、授業内容に対して主体的な構えをつくらせた。
- ・学生への問いかけを増やすように工夫したい。(2)
- ・雰囲気づくりを改善したい。
- ・授業の雰囲気がよかった。
- ・リレー講義形式の科目で、難易度のばらつきを平準化するために事前打ち合わせを細かく実施する必要がある。
- ・自習の「強制」に反発があるようだが、自習書の内容で重要なものは講義で取り扱っているので非難は当たらないと考える。

- ・ノートが取りやすい講義速度に努めたい。
- ・出席をとることを検討したい。
- ・なるべく身近な話題や具体例をあげて興味を持ってもらえるように説明した(2)
- ・自分が準備した内容を一方的に講義する一方通行の授業であったといえる。
- ・講義の狙いや自習時間に復習すべきところを重ねて指示し、講義内容で重要なところを詳細化、強調したレジュメを再配布するという工夫を行った。
- ・板書を改善する必要がある。(21)
- ・板書が見やすかった。(2)
- ・板書が多すぎるという評価と丁寧という評価に二分されていた。
- ・学生に板書をさせたのがよかった。
- ・講義の組み立てがよく復習しやすい。
- ・課題を毎回提出してくれた。
- ・家での課題を課すように工夫したい。
- ・宿題を課していたため予習復習に関して高い評価を得た。
- ・課題を提示して予習・復習に積極的になるようにしたい。(2)
- ・予習しやすいように分担箇所を割り当てる等の工夫をしたい。
- ・予習が十分にできていない学生が多かった。(5)
- ・高校の数学について一定の水準の理解を前提としており、そうでない場合はそれなりの努力が必要なことを最初の講義で十分に説明したい。
- ・声が聞き取りやすかった。(4)
- ・声が聞き取りにくかった。(2)
- ・声が大きいという指摘を受けた。
- ・早口にならないように気をつける。(2)
- ・授業時間内に授業が終わるように指摘があった。(2)
- ・図を多く用いて解説したことがよかった。
- ・学生間で本格的な討論を行うように指導したい。

環境

- ・私語が多い。(5)
- ・講義の静粛性が保たれていたのがよかった。
- ・私語が収まるまで始めないという対応をとったのがよかった。
- ・前方の席はほとんど開いているのに後部の席に座る学生が多い。
- ・質問をしても回答する学生が少ない。
- ・講義中の無断退室が多い。
- ・受講者数の割に教室が広すぎた。
- ・出席率が悪い。

その他

- ・ オフィスアワーの積極的な利用を促したい。
- ・ 多くの学生が毎時出席した。
- ・ 先生の熱意を感じた。
- ・ 今後も講義の質を下げないようにしたい。
- ・ 刑事法の関連科目についても開講してほしいという意見があった。
- ・ 練習問題が少ないという意見があった。
- ・ 外部講師を招き 1 コマ授業をしてもらったことが好評だった。
- ・ 大学生としての受講者の大学の授業に臨む態度が問われる。
- ・ 事務サイドに定期試験の受験資格について学則の厳格な運用が望まれる。
- ・ 現実の国際社会において生じている事件から問題点をあげて授業内容に関連付けて説明した点が評価された。
- ・ ポートフォリオを導入したい。
- ・ 同一コア枠内の他の科目に受講者が流れたためか、登録者が減少した。魅力ある問いかけの多い授業を実施したつもりであるので、登録者増加を果たせなかったことは残念である。教師の課題は 4 大にふさわしい講義内容をいかにわかりやすく講義できるかどうかであると考える。とすれば、「難しすぎる」などの選択肢の与え方に問題があるのではないか。基礎的知識の確認場面を作りこみたい。小テストを多用するのが一手だが、「難科目」の評判を高めることに直結することになりかねず、登録者増という課題に逆行することになるか。
- ・ 受講者数が少なかった原因が気になる。

【実 習】

スポーツ実践

内容

方法

- ・ 各運動種目、ヘルスプロモーションプログラムの選択範囲を広げることが必要である。
- ・ 1 年次だけでなく、2 年次以上へのアドバンス授業を構想するべきである。
- ・ 掃除、室温、運動道具、グラウンドの草取りや石の除去のチェックを入念にしている。
- ・ 健康になりま帳が学生にとって予習復習の認識外であったためか予習復習の評価が低い。
- ・ 生活習慣記入に対して学生が実技の予習と認識するようにしたい。

環境

- ・ 体育館内が暑い。

その他

- ・グラウンドの草や石ころの撤去については、担当教員の善意で行っているが、教員がすべきであるかどうか疑問である。
- ・種目選択によるクラス編成における人数の調整や各種目の技術習得プログラムに工夫が必要かもしれない。この点を非常勤の先生と常勤の先生で意見交換を盛んにすることによって改善したい。
- ・夏は汗をかくのでシャワーの利用者も多い。着替えや移動の時間を考慮し、早めに終わらせる工夫が必要であると感じた。

コンピュータ実習

内容

- ・教科書が指定されているが購入していない学生も多く、学校に入っているソフトウェアのバージョンが教科書と異なっていたため教科書が使えづらいという評価を受けた(2)
- ・授業の進度について回答にばらつきがあり対応に苦慮する。
- ・能力別クラスを作ることでよりスムーズな授業運営が可能になるのではないか。
- ・教材の精選をしたい。
- ・演習問題を適切な場所に取り入れるようにしたい。
- ・進度が早いという指摘があった。

方法

- ・わからない時にすぐ教えてくれる、教え方が丁寧という点が評価された。
- ・パワーポイントによる説明がわかりやすい。
- ・質問しづらいという意見があった。
- ・復習を頻繁に行ったことが評価された。

環境

- ・先生が威圧的だったというコメントがあった。
- ・私語が少なく、どの学生も集中して講義に取り組んだ。
- ・実習室内のほこりが多い。

その他

- ・情報科目群の内容のより一層の充実を希望する。
- ・資料を配布したいので印刷のサポートがあるとありがたい。
- ・笑顔で授業してほしいという指摘があったので相手に不快感を与えないようにする。
- ・共通の教科書が Office2007 で実習室は 2003 なので予習復習がしづらい。

- ・同一科目の別クラスと比べて回答のばらつきが多い。
- ・自宅にパソコンを持たない学生のケアが必要である。
- ・TA とうまく連携する必要がある。

【設 備】

- ・黒板が一部錆びている（古い）。 2009 年夏、塗り替え済み。2010 年塗り替え予定。
- ・プロジェクターなどの機械を新しくして欲しい。 リース期間終了後に対応。既に対応済みのものもあり。
- ・時計を付けてほしい。 時間管理については各自でお願いしたい。
- ・マイクの音量が大きい。 各教室で調整可能なので対応して欲しい。
- ・机・いすを修理して欲しい。 損傷の大きい机・いすは修理する。
- ・スクリーンが邪魔になるときがあり、黒板が見えにくい。 スクリーンを上げて使用して欲しい。同時使用は想定外。
- ・机が多くて教室が狭い。 学生数に応じた教室が使えるように可能な限りで対応したい。
- ・コンピュータを Vista にして欲しい。 Word、Excel を 2007 年版にして欲しい。 平成 23 年 10 月 1 日に機器更新をする予定なので、その時点で最新版にする。
- ・教室が暗い・蛍光灯を変えて欲しい。 切れているものは交換する。
- ・喫煙所からのにおいが気になる。 今後、検討する。
- ・網戸を付けて欲しい。 壊れているものがあるので修理する。